



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会

(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 072-894-3737)
(Fax 072-891-3340)

～ボランティア連絡会 ステップ!!～

With コロナの中での連絡会の活動がスタートしました。
今年度は、昨年度のホップに続いて大きくステップして、来年度への大ジャンプに続けようとしています。



ステップ その1

6月27日(火)

リーダー会で、新しくなった心生会を見学。

(リーダー会研修として)

見学後にミルクウェイのお弁当を食べ、リーダー会を楽しく、意義あるものにしようと取り組みました。(詳細は3ページに)

ステップ その2

ミニ講演会 ～子ども食堂について～

8月30日(水) 10時～

ボランティアセンターで、地域の方を招いてのミニ講演会開催。

今回は「あまのがわ子ども食堂」さんをお招きしてお話を伺います。

ステップ その3

連絡会のポスターを地域の広報板に貼りだします。(7月～9月)

市民の皆さんにボランティア活動のことを知っていただき、仲間に加わっていただこうと思えます。

※自宅にポスターが貼れる方はご連絡下さい。

ステップ その4

～連絡会交流会～

12月6日(水) 午後

今年度は、昨年度より広い多目的ホールで行います。ボランティア同士の交流を深め、笑顔あふれるボランティアの輪を広げましょう。

◆ボラセン階段踊り場に、メッセージボードがあります。皆様のご意見をお寄せ下さい。

◆コロナ前に行われていました、健康福祉フェスティバル・ふれあい広場につきましては、開催が決まりましたらお知らせします。お楽しみに!

～ナツボラ～ 夏のボランティア体験プログラム 募集

「人と関わるのが好き」「誰かの役にたいたい」「余暇時間を有意義に過ごしたい」そんな思いをボランティア活動でカタチにしませんか。

未経験者や社会人、学生さん地元と一緒に活動しましょう。1日だけの参加でも大丈夫です!体験以外の活動相談も随時受け付けています。

対象:市内在住の中学生以上(プログラムによる)

場所:ボランティアセンター
及びゆうゆうセンター

申込:ボランティアセンター
TEL:072-894-3737
FAX:072-891-3340

*申込書は社協 HP からダウンロードできます。



体験内容

①ワクワク×ゆうゆうサマースクール2023

募集人数:5名 対象:大学生以上
7/28(金) 午前11時45分～午後4時

②手話を知ろう 手話カルタ・手話歌・簡単な手話会話など

募集人数:各回10名 対象:中学生以上
7/28(金) ①午前10時～12時
②午後1時30分～3時30分

③イベント ゆうゆうセンター館内見学ツアーガイド、おもちゃづくりサポート

募集人数:各回2名 対象:中学生以上
8/1(火) 午後1時～3時30分
8/10(木) 午前9時30分～12時

④登録ボランティア向けICT講座講師サポート

募集人数:5名 対象:高校生以上
8/7(月) 午後1時15分～3時30分

⑤障がい者との交流 「ほほえみ」ベルマーク分別体験

募集数:各回10名 対象:中学生以上
8/3(木)、8/10(木) 午前10時30分～12時

⑥参加者交流会(オンライン参加可)

対象:①～⑤参加者
8/21(月) 午後1時30分～3時30分

リーダー会議からのお知らせ

【6月27日】

☆会長挨拶

・大阪府市町村ボランティア連絡会
総会及び講演会

☆連絡会より

・「講演会」8月開催について
・今年度助成金の執行について
・Googleグループについて
・ボランティア募集ポスター掲示について

☆各グループより 現況報告

☆Vセンターから

・社協事務所移転のお知らせ
・ボランティア体験プログラム
社協日より8月号掲載予定
ボラセンよって
8月7日(月) 13:30～15:30
SNS詐欺メール研修会
・連絡会HP更新 7月末締め切り
☆会議後、心生会施設見学と昼食会
(3頁参照)

【4月25日】

☆社会福祉協議会より

・青山事務局長・職員挨拶

☆新年度会長・役員・リーダー挨拶

☆連絡会より

・令和4年度決算、令和5年度予算
会則・細則の一部変更を承認

・新年度指名委員について
(アリス・さつき・星の会・虹の会・あいの各リーダー)

・今年度の連絡会活動について
(1頁参照)

・Gmailの引継ぎについて

・備品の貸し出しについて

☆各グループより 現況報告

☆Vセンターから

・センター活動室利用について
・センター利用ガイドについて
・ボランティア依頼について
・ボラセンよって 5/23
次回リーダー会議は8月22日(火)



▼「なかま」も創刊号以来253号を数え31年の歴史をもつ機関紙となった。

試行錯誤の連続であるかもしれないが、続けていること自体が大きな財産といえる。▼これからも親しみの持てる内容に、そして「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいことをゆかいに、ゆかいなことをまじめに書くこと」、いまは亡き作家井上ひさしさんの名言である。及ばずながら見習って行こうと思う。

なかま次号発行予定
令和5年10月2日(月)

大阪府市町村ボランティア連絡会総会 新年度役員選出／事業報告の承認

5月29日、大阪府社会福祉会館で大阪府市町村ボランティア連絡会の総会が3年ぶりに対面で開催されました。令和4年度の事業報告・同決算報告の承認後、新年度の役員候補者が全会一致で承認されました。

新役員は会長が留任の他は、全員が新人という陣容です。

役職	氏名(市町村名)	
会長	銭廣 幸壮(高石市)	留任
副会長	細谷 正純(豊中市)	新任
〃	吉岡 文子(寝屋川市)	新任
〃	上間 慶子(羽曳野市)	新任
〃	中野 芳昭(貝塚市)	新任
会計	河原 昇(大東市)	新任
監査	中見里 順子(東大阪市)	新任
〃	島中 最世子(能勢町)	新任

引き続き開催された講演会では京都光華女子大教授の石井祐理子氏から「これからのボランティアを考える」と題した講演がありました。

学生との連携を模索

ボランティアの本質には「人と人がかかわる」ことがあると思います。

しかしコロナ禍でそのことが分断され、多くの人と人の関係が失われました。それにより潜在化していた貧困、孤独、孤立等の諸問題が顕在化してきました。コロナ禍で私たちもZoomやSNS、ICT等の新技術を学ぶことにより、少しは進歩した部分もありますが、失ったものははるかに多いのが現状だと考えます。しかし講演を聞いて分断されたのは私たちだけではなく、大学生の皆さんも同じです。

京都光華女子大学のアンケートでは女子大生の3分の1がボランティアに関心があるとのこと。つまり人とかかわりたい、つながりたいの思いがあるのだと思います。

コロナ禍後、新しい技術や機器もさることながら、若い世代がボランティアに関心を持ってもらっていることに、新たなボランティア活動の到来を感じました。是非皆さんと共にこれらの若者と一緒に活動できるような方策を考えようではありませんか。

気軽にボランティアサロンへ

誰でも気軽に参加でき、ボランティアに関して、「知る、学ぶ、交流する」サロンを開催しています。

主に高齢者を対象としたお話し相手のボランティア「陽だまり」の活動紹介と傾聴のノウハウについて学びます。

資格も経験も必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

～実施要項～

とき：9月13日(水)午前10時～12時

ところ：ボランティアセンター1階活動室

講師：鴨志田 五男氏

対象：ボランティアに関心のある人

参加費：無料

申し込み：ボランティアセンター

☎ 072-894-3737

FAX 072-891-3340

可愛い短冊に願いを込めて



5月23日他3回、ボランティアセンターで「セタプロジェクト」の短冊づくりに参加しました。台紙の短冊に可愛いおりひめちゃん・ひこぼし君、星やハートなどのカラフルで小さな色紙を貼り付けていきます。久々にハサミやノリで大奮闘、切る人、貼る人、それぞれに手も動けば口も動きと、和気あいあいのなか楽しい情報交換の場でもありました。ゆうゆうセンターや各施設などで可愛い手作り短冊を見かけたなら、セタへの願いをお書きくださいね。

グループ紹介 障がい者との交流「ほほえみ」

コロナ5類移行、新たな活動に挑戦

「ほほえみ」の活動は障がいのある人や、社会参加のしにくい人たちの交流を通して、人と出会うことの楽しさを感じてもらい、お互いに理解しあい、助け合うことを目的としています。

現在、病気の後遺症で障がいが残る独居の男性や、障がいの作業所に通われている女性など数人の方が利用されています。この人たちの居場所として心の安らぎを感じていただける場になるよう努力しています。活動日は毎週木曜日10時30分から15時です。午前中は主にベルマークの整理集計作業をしています。その他に古切手の整理や乗作りなどの軽作業、午後はトランプゲームを楽しんでいます。

ほほえみのメンバーもだんだん高齢化してきましたが、「ここで過ごすの



が楽しい」と言ってくださる言葉に励まされています。

またボランティア自身も毎週ボランティアセンターにくることで生活にメリハリができて元気の源になっています。そんな中でゆうゆうバスがなく、ボランティアセンターへの足が遠く高齢者や障がいの実情を目の当たりにして残念に思っています。



ベルマークの整理作業中

でも5月からコロナの5類移行で、これまで制約の多かった日常生活が正常に戻るのに合わせて、「ほほえみ」も誕生会やクリスマス会など以前の活動が復活できるように工夫を凝らすこと、また新たな活動への挑戦も模索していきます。乞うご期待を！

社会福祉法人心生会見学

明るく機能的な施設



二班に分かれての館内見学はどのも採光が良く明るく気持ちのいい空間でした。「ミルキークウエイ、みのり、ホームえんどう」の事務所が一部屋になった事も良かったそうです。(以前は横並びの建物だったのでいちいち靴はいて隣りに移動していたとのこと) 各部屋ではお弁当づくり、マドレーヌ作り、紙袋の加工などの仕事をされ、館内の掃除も利用者さんが仕事としてされているそうです。

地域交流スペースもあり、そこにいた利用者さんに「新しい建物はどうですか」と聞くと「快適」と満面の笑顔で応えて下さいました。

これからもっと地域の方々に利用してもらい、いろんなことをやっていきたいと夢を語られるスタッフに感動しました。

心生会の益々の発展を願います。

ボランティアグループ連絡会発足30周年記念行事へ始動

4月26日、第2回実行委員会を行いました。新年度を迎え、若干のメンバー変更がありましたが、各グループより選出された委員と本部役員、オブザーバーとして連絡会顧問とボランティアセンター職員の18名で、開催時期や内容について意見を出し合いました。1年先のことですが、どんどんいろいろなことを決めて進めていかなければなりません。記念すべき節目の年(令和6年度)を祝う行事として、皆さんと楽しく過ごせるようにしたいと一同取り組んでいます。

記念行事に関する皆さんのアイデアやご意見をお寄せください。お待ちしております。